

令和5年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（秋季）

民法

問題1（40点）

権限外の行為の表見代理（民法110条）が成立するための要件について、具体例を挙げて説明せよ。なお、その際、権利外観法理についても言及すること。

問題2（40点）

民法715条1項に規定する使用者責任が成立するための要件について、取引的不法行為の具体例を挙げ、それに即して説明せよ。なお、その際、被害者の主観的事情が考慮されるべきか否かについても言及すること。

問題3（20点）

民法110条の表見代理と民法715条1項の使用者責任の効果の違いについて説明せよ。